

平成30年5月24日

山口県教育委員会会議議案

山口県教育委員会

議案

番号	件名	主管課
1	山口県教育委員会表彰規則による表彰について（報告承認）	教育政策課
2	山口県教育支援委員会委員の任命について	特別支援 教育推進室

議案第1号

山口県教育委員会表彰規則による表彰について(報告承認)

山口県教育委員会表彰規則(昭和61年山口県教育委員会規則第6号)第2条の規定に基づき、平成30年度教育功労者を次のとおり決定したので報告し、承認を求めます。

平成30年(2018年)5月24日

山口県教育委員会
教育長 浅原 司

永年精勤の部(表彰規則第2条第6号)

所属名	職名	氏名	勤務年数	備考
山口県立 柳井商工高等学校	主任 主事	末吉 義次	32年	平成30年4月30日 早期退職

議案第2号

山口県教育支援委員会委員の任命について

山口県教育支援委員会規則（昭和53年山口県教育委員会規則第4号）第3条第2項の規定に基づき、山口県教育支援委員会の委員を別紙のとおり任命する。

平成30年（2018年）5月24日

山口県教育委員会

平成30年度 山口県教育支援委員会委員(案)

	氏名	所属・役職名等	区分	備考
1	福田 修三	(財)山口県肢体不自由児協会 理事	学識経験者	再任
2	西川 浩子	山口県LD親の会「ほっぺ」 会長 (医師)	学識経験者	再任
3	田中 マキ子	山口県立大学 副学長(大地共創担当) 兼 地域共生センター 所長	学識経験者	新任
	加登田 恵子	現山口県立大学 学長 前山口県立大学 副学長(地域貢献担当) 兼 地域共生センター 所長	学識経験者	前任
4	藤田 久美	山口県立大学社会福祉学部 教授	学識経験者	再任
5	松本 正	社会福祉法人ひらきの里 障害者支援施設ひらきの里 施設長	学識経験者	新任
	尾 要	社会福祉法人ひらきの里 多機能型事業所ひらきの家 所長	学識経験者	前任
6	松岡 勝彦	山口大学教育学部 教授	学識経験者	再任
7	かねはら 洋治	かねはら小児科 院長	医師(小児科)	再任
8	たはら 肇 浩	たはらクリニック 院長	医師(小児科・内科)	再任
9	渡 広 子	クボクリニック 精神科医	医師(精神科)	再任
10	池田 卓 生	鼓ヶ浦こども医療福祉センター 耳鼻科医	医師(耳鼻科)	新任
	奥園 美 子	おくぞの耳鼻科クリニック 院長	医師(耳鼻科)	前任
11	皆野 崔 子	小郡第一総合病院 眼科医	医師(眼科)	再任
12	草川 加代子	(公財)山口県私立幼稚園協会 副理事長	関係教育機関	再任
13	山本 華代	山口県国公立幼稚園・こども園連盟 会長 (山口市立仁保幼稚園 園長)	関係教育機関	新任
	細野 聖 子	前 山口県国公立幼稚園・こども園連盟 会長 (周南市立菊川幼稚園 園長)	関係教育機関	前任
14	清永 直志	山口県特別支援教育研究連盟 理事 (下関市立桜山小学校 校長)	関係教育機関	新任
	田中 博文	山口県特別支援教育研究連盟 理事 (萩市立白水小学校 校長)	関係教育機関	前任

次期任期：平成30年6月1日～平成32年5月31日

現委員の年齢・任期は平成30年4月1日現在

山口県教育支援委員会規則

(趣 旨)

第1条 この規則は、附属機関の設置に関する条例（昭和28年山口県条例第51号）第2条の規定に基づき、山口県教育支援委員会（以下「委員会」という。）の組織、運営その他必要な事項について定めるものとする。

(所掌事務)

第2条 委員会は、山口県教育委員会（以下「教育委員会」という。）の諮問に応じ、次に掲げる事項について調査審議する。

- (1) 県立の特別支援学校に就学しようとする者並びに在学する児童及び生徒のうち、当該学校において障害の種類及び程度を判定することが困難なものについての教育支援に関すること。
- (2) 障害の種類及び程度を判定することが困難であるとして市町教育委員会から依頼のあった者についての教育支援に関すること。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、障害のある児童及び生徒の教育支援について教育委員会が特に必要と認める事項に関すること。

(組 織)

第3条 委員会は、委員20人以内で組織する。

2 委員は次に掲げる者のうちから、教育委員会が任命する。

- (1) 学識経験を有する者
- (2) 医師
- (3) 関係行政機関の職員
- (4) 関係教育機関の職員

(任 期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(会長及び副会長)

第5条 委員会に会長及び副会長各1人を置く。

2 会長及び副会長は、委員が互選する。

3 会長は、会務を総理し、委員会を代表する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会 議)

第6条 委員会の会議（以下「会議」という。）は会長が招集する。

2 会議の議長は、会長をもって充てる。

3 会議は、委員の半数以上が出席しなければ、開くことができない。

4 会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(部 会)

第7条 委員会に、委員会から付議された事項を調査審議するため、次に掲げる部会を置く。

- (1) 視覚障害部会
- (2) 聴覚障害部会
- (3) 知的障害部会
- (4) 肢体不自由部会
- (5) 病弱・虚弱部会

2 部会は、委員会の委員で組織する。

3 部会に属すべき委員は、委員会の会長が指名する。

4 前2条の規定は、部会について準用する。この場合において、これらの規定中「会長」とあるのは「部会長」と、「副会長」とあるのは「副部会長」と読み替えるものとする。

(調 査 員)

第8条 委員会に、特別の事項を調査するため必要があるときは、調査員を置くことができる。

2 調査員は、関係行政機関又は関係教育機関の職員のうちから、教育委員会が任命する。

3 調査員は、当該特別の事項に関する調査が終了したときは、解任されるものとする。

(庶 務)

第9条 委員会の庶務は、教育庁特別支援教育推進室において処理する。

(そ の 他)

第10条 この規則に定めるもののほか、委員会の運営について必要な事項は、会長が委員会に諮って定める。

報告事項

番号	件名	主管課
1	平成31年度山口県公立学校教員採用候補者選考試験実施要項の発表について	教職員課
2	平成30年3月新規高等学校等卒業者の就職状況等について	高校教育課

報告事項	担当部署	担当職員	備考
報告事項	教職員課	佐藤 隆	
報告事項	教職員課	佐藤 隆	
報告事項	教職員課	佐藤 隆	
報告事項	教職員課	佐藤 隆	
報告事項	教職員課	佐藤 隆	
報告事項	教職員課	佐藤 隆	
報告事項	教職員課	佐藤 隆	
報告事項	教職員課	佐藤 隆	
報告事項	教職員課	佐藤 隆	
報告事項	教職員課	佐藤 隆	

報告事項 1

平成31年度(2019年度)山口県公立学校教員採用候補者選考試験の実施について

1 選考区分、志願区分(校種等)、教科(科目等)及び採用見込者数

(1) 選考区分及び志願区分(校種等)

ア 一般選考

小学校、中学校、高等学校、特別支援学校小学部・中学部・高等部、養護教諭、栄養教諭の区分で実施する。

イ 身体障害者を対象とした選考

一般選考において実施する全ての志願区分(校種等)において実施する。

ウ 教職大学院修了見込者特別選考

一般選考において実施する全ての志願区分(校種等)において実施する。

エ 社会人特別選考

一般選考の小学校、中学校及び高等学校の試験を実施する教科(科目等)において実施する。

オ スポーツ・芸術特別選考

中学校の保健体育、音楽及び美術並びに高等学校の保健体育において実施する。

カ 山口県教師力向上プログラム修了者特別選考

小学校において実施する。

キ 博士号取得者特別選考

高等学校の理科(物理、化学、生物、地学)において実施する。

ク 看護科教諭特別選考

高等学校の看護において実施する。

※ 一つの選考区分、志願区分(校種等)に限り志願できる。

中学校及び高等学校並びに特別支援学校の中学部及び高等部にあつては、一つの教科(科目等)に限り志願できる。

ただし、以下の1～9に示す組合せについては併願が可能(いずれか一つの組合せに限る。)

	選考区分	第一志願	第二志願
1	一般選考	中学校	小学校
2	一般選考	特別支援学校小学部	小学校
3	一般選考	特別支援学校中学部	小学校
4	一般選考	中学校音楽	特別支援学校中学部音楽
5	一般選考	特別支援学校中学部音楽	中学校音楽
6	一般選考	中学校美術	特別支援学校中学部美術
7	一般選考	特別支援学校中学部美術	中学校美術
8	スポーツ・芸術特別選考	中学校保健体育	高等学校保健体育
9	スポーツ・芸術特別選考	高等学校保健体育	中学校保健体育

(2) 教科(科目等)及び採用見込者数

全体421人程度 [昨年度416人程度(看護科教諭特別選考なし)]

採用見込者数の算定に当たっては、退職者数、児童生徒数の推移等を考慮した。

ア 一般選考

小学校	211人程度	[昨年度210人程度]
中学校	91人程度	[昨年度95人程度]
	○ 国語 11人程度	
	○ 社会 13人程度	
	○ 数学 12人程度	
	○ 理科 13人程度	
	○ 音楽 4人程度	
	○ 美術 4人程度	
	○ 保健体育 18人程度	
	○ 技術 2人程度	
	○ 家庭 2人程度	
	○ 外国語(英語) 12人程度	
高等学校	61人程度	[昨年度62人程度]
	○ 国語 9人程度	
	○ 地理歴史	
	世界史 3人程度	
	日本史 2人程度	
	地理 3人程度	
	○ 公民	
	政治・経済 2人程度	
	○ 数学 5人程度	
	○ 理科	
	物理 3人程度	
	化学 2人程度	
	生物 3人程度	
	地学 1人程度	
	○ 保健体育 2人程度	
	○ 外国語(英語) 8人程度	
	○ 家庭 2人程度	
	○ 農業	
	農業畜産系 1人程度	
	土木造園林業系 2人程度	
	○ 工業	
	機械系 3人程度	
	電気系 2人程度	
	化学工業系 2人程度	
	○ 商業 3人程度	
	○ 水産	
	航海系 1人程度	
	機関係 1人程度	
	○ 福祉 1人程度	
特別支援学校	小学部 7人程度	[昨年度5人程度]
	中学部 各教科1人程度を原則とし、 合計7人程度	[昨年度5人程度]
	○ 国、社、数、理、音、美、保、技、家、外(英)	
	高等部 各教科1人程度を原則とし、 合計6人程度	[昨年度5人程度]
	○ 国、地歴(世、日、地)、公(政・経)、数、理(物、化、生、地)、保、芸(美)、外(英)、家、 農(農畜、土造林)、工(機、電、化)、商	
養護教諭	25人程度	[昨年度23人程度]
栄養教諭	2人程度	[昨年度2人程度]

※採用者数は、退職者数の状況等により変更することがある。

- イ 身体障害者を対象とした選考
全ての志願区分（校種等）全体で10人程度 [昨年度 9人程度]
- ウ 教職大学院修了見込者特別選考
前頁ア一般選考の採用見込者数に含む。
- エ 社会人特別選考
小学校、中学校、高等学校とも前頁ア一般選考の採用見込者数に含む。
- オ スポーツ・芸術特別選考
中学校、高等学校とも前頁ア一般選考の採用見込者数に含む。
- カ 山口県教師力向上プログラム修了者特別選考
前頁ア一般選考の採用見込者数に含む。
- キ 博士号取得者特別選考
前頁ア一般選考の採用見込者数に含む。
- ク 看護科教諭特別選考
高等学校の看護で1人程度 [昨年度 募集なし]

2 志願書類受付期間

- (1) 郵送又は持参による場合 5月11日（金）から6月1日（金）まで
※郵送の場合は、6月1日の消印のものまで有効
- (2) インターネットによる場合 5月11日（金）から5月25日（金）午後5時まで

3 選考試験期日

- (1) 第一次試験
7月14日（土）及び15日（日）
- (2) 第二次試験
8月18日（土）及び19日（日）
なお、小学校については、上記に加えて19日（日）から21日（火）のうち指定した1日で個人面接を実施（8月25日（土）、26日（日）を、悪天候等で小学校個人面接が実施できなかった場合の予備日とする。）

4 選考試験会場

- (1) 第一次試験
ア 山口会場・・・・・・・・・・山口高校、山口中央高校、西京高校
イ 東京会場（神奈川県横浜市）・・・國學院大學たまプラーザキャンパス
- (2) 第二次試験
山口高校、山口中央高校、西京高校、山口農業高校

5 選考試験内容

- (1) 第一次試験
ア 一般選考、身体障害者を対象とした選考、教職大学院修了見込者特別選考、社会人特別選考、山口県教師力向上プログラム修了者特別選考及び博士号取得者特別選考
 - ・教職専門（教職大学院修了見込者特別選考、社会人特別選考、山口県教師力向上プログラム修了者特別選考及び博士号取得者特別選考の志願者以外の者）
 - ・教科専門
 - ・特別支援教育専門（特別支援学校志願者及び特別支援学校を第二志願とする者）
 - ・実技（小学校及び特別支援学校小学部の志願者を除く）
 - ・集団面接（討議）（教職大学院修了見込者特別選考及び山口県教師力向上プログラム修了者特別選考の志願者以外の者）
- イ スポーツ・芸術特別選考及び看護科教諭特別選考
個人面接、集団面接（討議）

(2) 第二次試験

適性検査、小論文、集団面接（模擬授業及び討議）、個人面接、実技（小学校、特別支援学校
小学部の志願者及び小学校を第二志願とする者）

※ 身体に障害がある志願者については、障害の状態等に応じて、実技試験の免除、車椅子の使用や点字及び拡大文字・手話通訳による受験等の配慮をする。

6 選考試験結果の発表

(1) 第一次試験結果の発表予定

8月7日(火) 午前9時

(2) 第二次試験結果の発表予定（採用候補者名簿登載予定者の発表）

10月3日(水) 午前9時

7 平成31年度山口県公立学校教員採用候補者選考試験の主な変更点

<選考に当たっての考慮事項を追加>

● 選考に当たって、複数の学校種又は複数の教科の普通免許状を所有している者を対象に考慮しているが、そのうち特に考慮する者として、次の①又は②に該当する者を対象に加える。

① 志願区分が特別支援学校以外の受験者で、特別支援学校教諭免許状又は特別支援学校教諭免許状に相当する免許状を所有している場合

② 志願区分が特別支援学校の受験者で、5つの特別支援教育領域（視・聴・知・肢・病）の免許状又は5つの特別支援教育領域に相当する免許状を所有している場合

● 選考に当たって、次の①又は②に該当する者を考慮の対象に加える。

① 社会教育主事講習を修了した者

② 社会教育主事養成課程を修了した者（大学において文部科学省令で定める社会教育に関する科目の単位（24単位）を修得した者）

8 志願書類の請求等について

(1) 配布場所

山口県庁（受付、中央県民相談室及び山口県教育庁教職員課）、山口県内各総合庁舎（地方県民相談室等）、山口県東京事務所、山口県大阪事務所、山口県内各市町教育委員会

(2) 郵便で請求する場合

請求先：〒753-8501 山口市滝町1番1号 山口県教育庁教職員課（☎ 083-933-4550）

封筒の表に「教員志願書類請求」と朱書きし、住所、氏名（〇〇様とする。）及び郵便番号を明記し140円分の切手を貼った返信用封筒（角形2号：縦33cm、横24cmのもの）を必ず同封すること。

なお、同時に2部請求する場合は65円分の切手を、割増郵送料として追加すること。

(3) インターネットを利用した申請の場合

アクセス先：<http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a50200/index/>

9 その他

志願者確保のため、教員採用候補者選考試験説明会を県内外合わせて14会場で実施する。各会場で志願書類を配付する。

(1) 説明会の概要

ア 山口県教育委員会あいさつ

イ 平成31年度山口県公立学校教員採用候補者選考試験について

・平成31年度の主な変更点

・具体的な採用見込者数、選考試験の日程、受験申込方法等

ウ 山口県の教育について

エ 現職教員による体験談

オ 質疑応答

(2) 日時及び会場名等

日時	会場名	場所	参加者数()は昨年
5月11日(金) 18:00~20:00	山口大学会場	山口大学 吉田キャンパス 共通教育棟2番教室 山口市吉田1677-1	136人(198人)
5月12日(土) 10:00~12:00	周南会場	県周南総合庁舎 周南会議室702、703 周南市毛利町2-38	47人(79人)
5月12日(土) 10:00~12:00	下関会場	下関市教育センター 大研修室 下関市幡生新町1-1	90人(105人)
5月12日(土) 14:00~15:30	福岡会場	福岡県立ももち文化センター 第2研修室 福岡県福岡市早良区百道二丁目3番15号	20人(26人)
5月13日(日) 10:30~12:00	岩国会場	岩国市教育センター 第1研修室、第2研修室 岩国市横山三丁目1番11号	51人(42人)
5月13日(日) 10:30~12:00	萩会場	萩市第3会議室(萩市教育委員会隣り) 萩市江向510	22人(25人)
5月13日(日) 14:00~15:30	岡山会場	岡山県生涯学習センター 視聴覚室 岡山県岡山市北区伊島町3丁目1-1	31人(37人)
5月13日(日) 14:00~15:30	大阪会場	大阪市立此花区民ホール 第4会議室 大阪市此花区四貫島1-1-18	54人(36人)
5月15日(火) 17:35~19:35	山口県立大学会場	山口県立大学 北キャンパス 2号館 B201教室 山口市桜島6丁目2-1	52人(40人)
5月16日(水) 14:30~16:00	福岡教育大学会場	福岡教育大学 共通講義棟 211教室 福岡県宗像市赤間文教町1-1	30人(30人)
5月17日(木) 14:30~16:00	広島大学会場	広島大学 教育学部 L-107講義室 広島県東広島市鏡山一丁目1番1号	16人(16人)
5月18日(金) 18:00~19:30	山口学芸大学会場	山口学芸大学 A-400教室 山口市小郡みらい町1-7-1	105人(120人)
5月19日(土) 14:00~15:30	広島会場	広島市まちづくり市民交流プラザ 研修室B 広島市中区袋町6番36号	25人(23人)
5月20日(日) 14:00~15:30	東京会場	東京都港区生涯学習センター(ばるーん) 101学習室 東京都港区新橋3丁目16-3	35人(31人)

参加者数計714人(808人)

平成30年3月新規高等学校等卒業者の求人・求職・就職状況

平成30年3月末日現在（山口労働局調べより作成）

項目		性別	合計	男子	女子	前年同期比
A	求人人数(人)	県内安定所受理数	(5,429) 5,804			6.9%
B	就職希望者数(人)	県内就職希望者数	(2,545) 2,468	(1,467) 1,476	(1,078) 992	-3.0%
		県外就職希望者数	(636) 598	(466) 449	(170) 149	-6.0%
		合計	(3,181) 3,066	(1,933) 1,925	(1,248) 1,141	-3.6%
C=A/B 求人倍率(倍)			(1.71) 1.89			0.18ポイント
D	就職内定者数(人)	県内就職者数	(2,535) 2,451	(1,462) 1,469	(1,073) 982	-3.3%
		県外就職者数	(636) 597	(466) 449	(170) 148	-6.1%
		合計	(3,171) 3,048	(1,928) 1,918	(1,243) 1,130	-3.9%
E	未内定者数(人) (B-D)	県内	(10) 17	(5) 7	(5) 10	7人
		県外	(0) 1	(0) 0	(0) 1	1人
		合計	(10) 18	(5) 7	(5) 11	8人
F=D/B 就職内定率(%)		県内就職	(99.6) 99.3	(99.7) 99.5	(99.5) 99.0	-0.3ポイント
		県外就職	(100.0) 99.8	(100.0) 100.0	(100.0) 99.3	-0.2ポイント
		合計	(99.7) 99.4	(99.7) 99.6	(99.6) 99.0	-0.3ポイント
G	県内・県外就職内定比率(%)	県内就職	(79.9) 80.4	(75.8) 76.6	(86.3) 86.9	0.5ポイント
		県外就職	(20.1) 19.6	(24.2) 23.4	(13.7) 13.1	-0.5ポイント

(注) 1. () 内は昨年同期の数値である。

2. A欄：求人数は、山口県内の公共職業安定所で受理した求人数である。

3. B欄：就職希望者数は、学校又は公共職業安定所の紹介を希望する者の数である。

4. C欄：求人倍率は、Aの求人数/Bの就職希望者数(合計)である。

5. G欄：県内・県外就職内定比率は、D(県内就職者数または県外就職者数)/Dの就職内定者数(合計)である。

平成30年度やまぐちの活力を支える高校生就職支援事業

1 県内就職ガイダンス等充実事業

○ 地域産業魅力発見セミナー

地元の企業に就職した卒業生等が、仕事のやりがいなどについて、生徒一人ひとりに語りかける座談会や地域・地域産業の魅力を伝えるセミナー等を各学校において実施

対 象：県立高等学校、県立中等教育学校、県立特別支援学校に在籍する高校1・2年生及び保護者

○ 地域産業就職ガイダンス

就職に向けた意識の醸成を図るためのガイダンスを各学校において講師を招いて実施

対 象：公立高等学校、県立中等教育学校、県立特別支援学校、私立高等学校に在籍する高校3年生及び保護者

2 新県内企業見学セミナー事業

県内企業の現場見学を行い、企業で働く人からのセミナーを実施

対 象：県立高等学校、県立中等教育学校、県立特別支援学校に在籍する高校1年生及び保護者

3 県内就職サポーター等配置事業

○ 就職サポーター〔公立高校19人、私立高校5人〕

就職相談を踏まえた求人開拓、情報提供、マッチング
2年次に個別面談を実施 ※派遣校制度により、すべての学校を支援する。

○ チーフ就職サポーター〔3人：県東部、県中部、県西部〕

求人情報等を集約し、県内全域での共有化 ※就職サポーターの業務含む。

○ 新県内就職促進統括マネージャー〔1人：県中部〕

県内企業情報の分析、連携機関との窓口一元化、広域マッチング

対 象：公立高等学校、県立中等教育学校、県立特別支援学校、私立高等学校

4 拡県内企業訪問推進事業

求人開拓や応募前職場見学及び職場定着指導等のため、教員等による企業訪問を実施

対 象：県立高等学校、県立中等教育学校、県立特別支援学校、私立高等学校
※県立高森みどり中学校は職場定着指導のみ可

5 拡県内就職促進協議会

進路指導担当者等や企業の採用担当者等が教育内容や業務内容等についての情報交換会

対 象：公立高等学校、県立中等教育学校、県立特別支援学校、私立高等学校

開催予定日・会場：

I 期	岩国・柳井地区	5月31日(木)	岩国国際観光ホテル
	周南地区	5月29日(火)	ほしらんどくだまつ
	山口・防府地区	5月16日(水)	県庁職員ホール
	宇部・山陽小野田地区	5月21日(月)	ココランド山口・宇部
	下関地区	5月24日(木)	海峡メッセ下関
II 期	萩・長門地区	6月4日(月)	萩グランドホテル
	県東部	6月13日(水)	ほしらんどくだまつ
	県中部	6月11日(月)	県庁職員ホール
	県西部	6月7日(木)	海峡メッセ下関

※ II期は、I期で参加できなかった企業が参加

6 拡県内企業就職説明会

就職希望者の就職内定に向け、生徒と企業の採用担当等との個別面談を実施

対 象：公立高等学校、県立中等教育学校、県立特別支援学校、私立高等学校
開催予定日：平成30年7月12・13・17日、10月上旬

協議事項

番号	件名	主管課
1	県立高校の再編整備について	高校教育課

光高校と光丘高校の再編統合について（案）

1 新高校のコンセプト

地域ぐるみでの教育活動や、生徒の多様な進路希望に対応する選択幅の広い教育により、地域のニーズや期待に応える学校

2 新高校の概要

(1) 再編統合の方向性



※ 普通科と総合学科の併置は、県内初

(2) 新高校への移行

	(平成31年度)			(平成32年度)			(平成33年度)			(平成34年度)		
光高校	1年	2年	3年		2年	3年			3年			
新高校				1年			1年	2年		1年	2年	3年
光丘高校	1年	2年	3年		2年	3年			3年			

3 教育の特色の方向性

— 両校の伝統や取組を継承するとともに、さらに発展させた教育活動を展開 —

(1) 生徒の多様な進路希望に応える、選択幅の広い教育の推進

～ 大学進学や就職など、生徒個々の進路希望に応えるため、各進路に対応するコースや系列をもつ単位制の2学科（「普通科」「総合学科」）を設置 ～

【普通科】進学希望に応じたコースと多様な科目を設定

※ 課題解決型学習の積極的な展開により、大学入学者選抜改革にも的確に対応

(例) **探究コース** ・数学や英語などにおいて、より発展的な内容を学習できる教育課程を編成
 ・国公立大学や難関私立大学への進学に対応

進学コース ・国語や地理歴史、数学、理科、英語などにおいて幅広い選択科目を設定
 ・4年制大学や短大など、多様な進学希望に対応

【総合学科】多様な進路希望や学びのニーズに応える系列を設定

(例) **文理系列** ・普通教科において幅広い選択科目を設定
 <文系・理系> ・大学や専門学校など、多様な進学希望に対応

地域創生系列 ・商業や保育に関する専門的な科目を選択科目として設定
 <ビジネス・保育> ・商業系・保育系の大学、専門学校等への進学や就職など幅広い進路に対応
 ・地域と密接に連携し、フィールドワークや地元施設での実習等の実施により、地域を知り地域に貢献する取組を積極的に展開

体育・芸術系列 ・体育や音楽、美術に関する専門的な科目を選択科目として設定
 <スポーツ・音楽・美術> ・体育系・芸術系の大学や専門学校への進学等に対応

* 自分の進路希望等に応じて、所属する学科以外の科目の選択も可能とする。

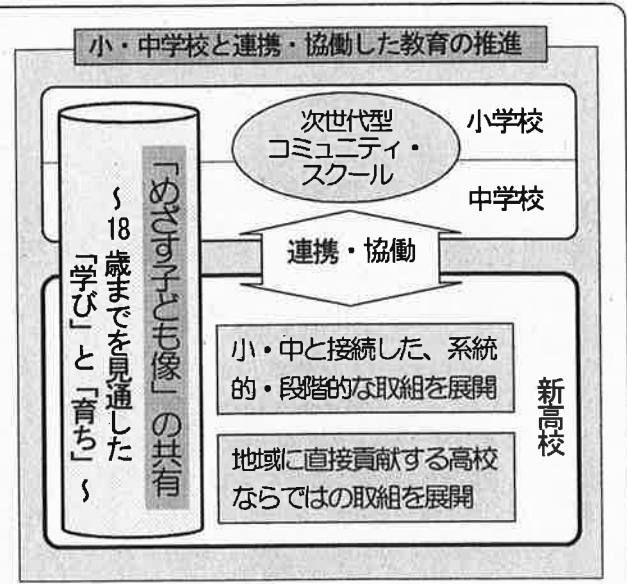
(2) 地域や小・中学校等と密接に連携・協働した教育の推進

～ 開校とともにコミュニティ・スクールを導入し、光市内の五つの地域協育ネットをはじめ、地域、大学、企業、関係機関等と連携・協働した活動を推進 ～

- 学科やコース・系列の特性に応じて、学校や地域の課題解決に向けた、高校ならではの取組を展開
- 光市の小・中学校における「次世代型コミュニティ・スクール」との一層の連携に向けた仕組みを構築し、社会総がかりによる教育を推進

地域の未来を担う人材を育成

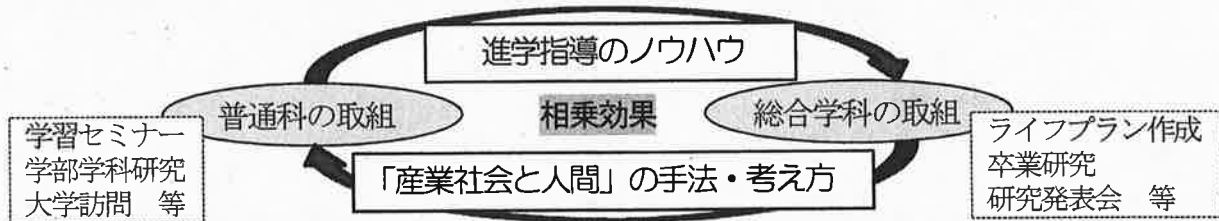
- 地域資源を生かした子どもたちの豊かな学びの実現
- 郷土を愛する心や地域の担い手としての意識の醸成



(3) 社会への参画を深く考えるキャリア教育の推進

～ 自己の在り方や将来像を考える、系統的・計画的なキャリア教育の展開 ～

- 目的意識の高い進路選択をめざし、両校で培われてきたキャリア教育のノウハウを活用



- 小・中学校におけるキャリア教育との接続を図り、18歳までを見通した系統的・計画的なキャリア教育の取組を推進

4 部活動

- 現在、両校で開設されている部活動を可能な限り継続するとともに、中学生のニーズ等を踏まえ、部活動の運営について検討し、部活動の活性化を促進
- 部活動を通じて、心技体のバランスのとれた人材を育成

〔部活動の状況〕

	光高校			光丘高校		
	硬式野球	バレーボール(女)	陸上競技	硬式野球	バレーボール(女)	陸上競技
運動部	弓道	卓球(男)	バスケットボール	弓道	卓球	バスケットボール(女)
	ソフトテニス	ヨット	サッカー	硬式テニス(女)	水泳	バドミントン(女)
	新体操(同好会)					
文化部	吹奏楽	英会話	JRC	吹奏楽	英会話	JRC
	芸術	茶華道	放送	美術	茶道	演劇
				家庭	新聞・文芸	

※網掛けは両校ともに開設している部活動

